

19/3
平成

日米豪軍事協力強化へ

防衛相会談 対中国念頭に

【ホルル＝共同】浜田 本時間（日未明）、米ハワ
靖一防衛相は一日年前（日）イのインド太平洋軍司令部

- ・国際秩序を維持するため3カ国の安全保障戦略を擦り合わせる方針で一致。共同訓練や情報交換、技術協力を強化
- ・中国が日本の排他的経済水域（EEZ）内に弾道ミサイルを撃ち込んだ行為を強く非難。台湾海峡の平和と安定の重要性を強調
- ・中国による太平洋島しょ国への影響力拡大に懸念を共有
- ・浜田防衛相は、国家安全保障戦略改定の検討状況と防衛費増額に決意

で米国、オーストラリアとの三方国防衛相会談に臨んだ。三氏は中国の覇権主義的な行動を念頭に、国際秩序を維持するため安全保障戦略を擦り合わせる方針で一致。中国が八月に台湾周辺で実施した軍事演習で弾道ミサイルを発射し、「日本EEZ内に撃ち込んだ」とを

強く非難した。台湾海峡の平和と安定の重要性を改めて強調した。

会談にはオースティン米国防長官、オーストラリアのマールス国防相も出席。三氏は自衛隊と米海軍の相互運用性を向上させるため、共同訓練や情報交換、技術協力の強化に合意した。浜田氏は外交・安保戦略の長期指針「国家安全保障戦略」などの改定に向けた検討状況を説明した。

三氏は会談前、記者団の取材に応じた。浜田氏は口述した。「中国が台湾海峡や地域でますます攻撃的な振る舞いをしている」とを憂慮している」と述べた。

会談では、中国がソロモン諸島との安保協定締結をはじめ、太平洋島しょ国に影響力を拡大させている状況や、東・南シナ海情勢に懸念を共有。力による一方的な現状変更に強く反対すると確認した。「自由で開かれたインド太平洋」の実現に向け、緊密に連携していくと申し合わせた。